

CRB 現地スタッフ便り 第1回(2014/2/28)



皆さん、初めまして。

ケア・リゾート・バリ (CRB) 現地の日本人スタッフの野口智香 (のぐち ちか) と申します。2012年暮れにCRBの仕事に就いて、あっという間に1年が過ぎました。2年目に入りこの度、私が見たり感じたりした現地情報をお届けして行くことになりました。

これまでの1年はCRBホテル内で過ごすことが多かったのですが、近々バイクを買うことにしましたので、現地の人のようにバリ島内をバイクでどこへでも行けるようになります。ですので、皆さまにCRB内はもとより、バリ島内のさまざまな情報をお届けできるのでは?と思っています。

不定期ですが、ご覧になっていただければ幸いです。

さて、第1回の「現地スタッフ便り」は、CRBのウパチャラ・オダラン(UPACARA ODALAN)についてご紹介します。

バリ島にはパヒンドゥー教のさまざまな「お祭り」がありますが、その「お祭り」の総称をウパチャラといいます。今回ご紹介するウパチャラ・オダランは「お寺の創立記念祭」のことで、バリ島の暦に則り210日ごとに行われます。

去る2月21日は、CRBホテル敷地内の一番上にあるお寺のウパチャラ・オダランにあたり、お坊さんにも来ていただいて儀式を行いました。

私たちスタッフは男女とも、お祭り用の正装をしてお祈りしました。この衣装を着てお祈りすると何だかバリ人になった気がします。

終わった後にはお祭りに欠かせないバビグリン(豚の丸焼き)を皆でいただきました。全員バビグリンが大好きで、すぐに全部たいらげました。バリを味わえるひと時です。

CRB滞在日とオダランが重なった時には、ぜひ皆さまも一緒に参加されませんか。次はだいたい先ですが…。

では次回をお楽しみに!!



CRB 女性スタッフ。左から、ユリ、サトリカ、新人のユニ、イロ



儀式が終わり、ほっと一息ついているCRB現地スタッフ



バビグリンを運ぶカディールと私(野口)